

報西日六

友愛會 赤化 鈴木氏

赤化とは何を意味するか

無體交渉權要求は過激では無い

……と來談中の鈴木友愛會長は語る……

最近友愛會の勞働争議に對する方針が著しく過激化の傾向を帯びたと稱せられ極端なる直接行動の唯一の信條として居るかの如く目ざされたものであるが是れに就きまして懸念されるの故を以て引退の噂まで立てられた鈴木會長は語つた。

友愛會赤化なる言葉が頻りに耳に入るが、トノ駄が赤化なのか、調が分らない労働者が日一日も自覚して來て協同主義や温情主義に傾きなくなり善悪も現在の政界の有様では駄目なと見切をつけたのは進歩は有らうが赤化ではあるまい。

友愛會が普選運動を捨てたのは決して本部の指令でやつた事ではなく地方聯合會の一がその聯合會の決議としたわけでも友愛會は未だ決して普選を捨てぬ私の引退問題か時運が來れば後進に事を託して任舞ふかも知れぬが未だ其朝晩ではないやうだ。

非難は私が労働者の教育機關として夜間の労働講堂大學式のものなを非十月迄には作りたくない。

産業を工業主の專横から労働者をも消極的にではあるが管理の一分子たらしめやうとする團體交渉權の要求などは其一例である是れを以て過激化など云はれるのは労働者の立場があるまい。

……と來談中の鈴木友愛會長は語る……